

平成28年度 学校評価について（報告）

◇ 評価項目

1. 教育活動全般に関する領域（教育目標、教育計画、施設設備）
2. 学習活動に関する領域（教育課程、学習指導）
3. 生徒指導に関する領域（学校生活、特別指導、教育相談、学校保健）
4. 進路指導に関する領域（進学指導、進路相談）
5. その他

◇ 評価実施結果

実施日 平成28年11月14日～11月18日 対象：全校生徒（回収率：98.4%）、保護者（回収率：79.6%）
 評価段階（左側から順次配置）

■ そう思う、 ■ 大体そう思う、 ■ あまりそう思わない、 ■ そう思わない、 ■ 無回答

◇ 評価結果と分析（数値の単位は%）

1. 教育活動全般に関する評価領域

質問項目	生徒	保護者
1 あなたは、本校の教育方針を理解している	H28 13.5 62.4 19.8 4.2 H27 13.8 59.3 19.3 7.0 H26 14.1 58.4 21.4 6.0	H28 15.8 69.7 12.8 1.4 H27 13.6 69.1 15.3 1.7 H26 12.2 71.3 15.7 0.4
2 部活動は活発に行われている	H28 70.4 28.3 1.0 H27 74.6 22.5 2.9 H26 69.7 27.2 2.9	H28 66.2 29.4 3.1 H27 67.5 29.6 2.9 H26 66.0 31.4 2.6
3 有意義な学校行事がある	H28 34.6 49.9 12.5 2.6 H27 36.2 49.8 10.5 3.1 H26 33.2 49.8 11.5 4.8	H28 37.4 53.9 7.2 1.6 H27 34.5 55.1 8.7 1.7 H26 35.0 55.8 9.0 0.0
4 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	H28 14.6 56.4 25.4 3.2 H27 14.1 54.9 25.0 5.8 H26 14.1 52.0 28.9 4.0	H28 19.5 65.1 14.7 0.4 H27 22.4 58.5 17.1 1.9 H26 18.3 61.7 18.5 0.8
5 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	H28 23.9 61.4 12.9 1.7 H27 24.2 59.5 13.0 3.0 H26 19.7 59.9 15.9 4.2	H28 24.3 55.4 17.8 2.4 H27 26.5 55.3 16.4 1.4 H26 21.6 52.7 22.8 2.4
6 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	H28 37.3 49.8 10.7 2.0 H27 37.2 51.6 8.4 2.7 H26 37.2 45.4 14.2 3.0	H28 44.4 51.3 3.0 1.2 H27 45.1 51.6 2.0 1.2 H26 45.0 52.1 2.0 0.9
7 学校生活は充実している	H28 35.2 50.4 9.3 5.0 H27 29.1 54.6 11.8 3.9 H26 35.3 48.0 11.2 5.3	H28 38.3 53.9 7.0 1.4 H27 40.2 54.0 4.0 1.5 H26 40.9 53.2 4.1 1.0
8 本校のPTA活動は、保護者と教職員とが協力して活発に行われている		H28 16.4 66.7 14.5 0.5 H27 13.8 64.7 18.9 1.5 H26 13.8 60.1 20.0 1.5

◆『教育方針の理解』については、約76%となっており、肯定的に受け止めていただいております。機会をとらえて説明を心掛けていくところですが継続して、理解を深めていただけるよう努力・改善してまいります。 ◆『部活動』については、例年肯定的な回答を多くいただいております。保護者の皆様のご理解とご協力、そして生徒が熱心に取り組んでいる結果と判断します。本年度は、ラグビー部・陸上部・ボート部の東北大会出場、天文物理部・自動車部の全国大会出場を始め、各運動部・文化部ともに活躍が目立ちました。本校では、部活動を教育活動の一環として、また、特色づくりとしても継続して力をいれていくとともに、生徒が学習との両立を図りながら、さらなる高みを目指して取り組んでいきます。 ◆PTA活動では、学年行事の取組みを始めて3年になりました。それに伴って肯定的な回答が増加傾向にあります。学校と家庭、そして地域を結ぶ重要な活動として、より一層の

連携・協力を図り活動内容の検討を行い実践していきたいと思っております。 ◆教育活動全般の項目は、生徒が充実した高校生活を送るうえで、重要な評価項目としてとらえています。全般的にみて、良好な傾向を示していると思われませんが、さらに改善を加えながら充実を図り、生徒、そして、保護者の皆様とその取組を実感してもらえるよう努力してまいります。

2. 学習活動に関する評価領域

質問項目	生徒	保護者
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	H28 11.7 66.0 18.9 3.0 H27 16.0 58.3 21.5 4.0 H26 10.7 61.5 23.2 4.2	H28 20.8 69.5 8.0 1.7 H27 19.8 71.5 7.8 1.1 H26 19.6 72.5 7.1 0.6
2 本校の教育課程を、理解するためにシラバスを利用している。（生徒）/理解している。（保護者）	H28 10.2 35.6 35.3 18.6 0.2 H27 9.7 35.6 33.3 21.2 0.1 H26 8.3 32.6 35.5 23.7 0.0	H28 6.5 41.3 35.7 12.8 3.7 H27 11.5 64.7 20.2 2.1 H26 12.2 66.0 20.4 1.2
3 学習内容について満足している	H28 14.1 64.8 17.9 3.0 H27 13.3 59.9 20.8 5.0 H26 13.6 57.0 23.4 5.0	
4 授業に対して真面目に取り組んでいる（生徒）/家庭学習の習慣が身に付いている（保護者）	H28 22.9 66.9 9.3 0.5 H27 21.1 61.4 14.3 2.0 H26 20.9 63.0 13.1 2.6	H28 12.5 38.7 38.8 9.7 H27 13.3 38.2 35.3 12.9 H26 11.0 41.1 36.1 11.8
5 本校は、ものづくりの基本が身に付くように授業が展開されている	H28 30.5 59.5 7.4 1.2 H27 33.2 55.8 7.3 1.8 H26 30.4 56.1 9.9 2.4	
6 本校は、資格取得を目指した指導を行っている（生徒）/取り組んでいる（保護者）	H28 34.4 55.8 7.1 1.2 H27 34.8 52.5 9.1 1.8 H26 36.1 51.7 8.7 2.4	H28 39.2 51.1 8.7 0.7 H27 37.6 54.4 6.3 0.7 H26 40.7 52.1 6.9 0.9

◆今年度も『学ぶ意欲を引き出し学力を身につける授業』の実践に向けて、アクティブラーニングやICT機器の活用した授業展開を進めてまいりました。あわせて、言語活動は授業力向上に欠かせないという観点から、生徒に対してははっきりと分かりやすい話し方や、生徒の話に耳を傾ける姿勢など、人と人のかかわりや言葉の大切さについて見識を深める研修会を実施しました。今後も質の高い授業実践のために研究授業や研修会を実施する予定です。 ◆『シラバス』には、1年間の学習内容や評価方法などが記載されています。年度当初に科目ごとに生徒に配布していますが、今回の調査で活用状況や認知度が比較的低い結果となりましたので、一層配慮したいと考えています。 ◆『資格取得指導』は、本校の長年の指導により、各生徒の早期進路決定に直結して成果を得ています。アンケート結果より、保護者の皆様や生徒に好評価を得ており、今後も各科に於いて様々な資格取得を計画指導していきます。指導形態では、放課後の補習・講習等や、実技面では「ものづくりマイスター制度」の熟練技能者に直接実技指導をいただく機会を設けています。試験日は、年度当初に配布します年間行事予定に記載されていますので、計画的な取得を検討下さい。受験申し込みについては、担当者から事前に募集のプリント等を生徒に配布、または掲示されますので、締め切り日に余裕を持って申し込み下さい。 ◆『学習習慣』については、「授業」が教育活動の根幹であることを、生徒に日々の学習を大切にするよう指導しています。また、基礎学力の定着と自ら学ぶ姿勢を養うことを目的に、朝学習も継続して実施しています。家庭学習についても、課題等とおして指導しているところですが、保護者の方々にもご協力をいただきながら一層の習慣づけを図っていきます。考査の前後には、成績指導生徒に対する組織的な学習指導も行っています。

3. 生徒指導に関する評価領域

質問項目	生徒	保護者
1 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている	H28 30.4 60.5 6.9 2.2 H25 33.5 54.1 9.4 2.8 H24 30.1 55.4 11.8 2.0	H28 33.5 59.9 6.1 1.2 H25 32.7 58.4 7.0 1.5 H24 34.4 58.5 6.1 1.4

2	あなたは、挨拶をよくしている		
3	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています		
4	生徒会活動は活発に行われている		
5	服装・髪型をきちんとしている		
6	交通安全を心がけている。(生徒) / 安全教育に取り組んでいる (保護者)		
7	所持品の自己管理を徹底している (生徒) / 盗難防止の指導が徹底されている (保護者)		
8	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる (生徒) / いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている (保護者)		

◆『基本的生活に関する指導』は、肯定的な回答が多くその意義、そして指導内容についても理解を得られていると考えます。基本的生活習慣の確立は、高校生活においてだけでなく生徒の進路、そして将来においても大切なこととして指導を行っています。保護者の皆様にもこれらのことをご理解いただき、生徒が規則正しい生活で充実した高校生活を送れるようご協力をお願いします。 ◆『服装・頭髪』については、身だしなみ指導として年3回検査を実施していますが、再検査を受ける生徒もいます。生徒自身の積極的理解と自主的な行動がなければ単なる「押しつけ」になってしまいます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。 ◆『交通安全』では、今年度交通違反(レッドカード)数が減少しました。今後も、家庭と協力しながら指導していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いします。 ◆『いじめ』については、「いじめは絶対に許さない!」を共通認識として様々な場面で指導しています。今年度アンケート調査の回数を増やすなど実態把握に努め、早期発見、そして迅速な対応ができる体制を整えております。また、本校のHPに「学校いじめ防止基本方針」を掲載し公開しておりますのでご覧ください。これからは家庭と情報を共有しながら、いじめが起きない環境を整備しています。◆教育相談に関しては、今年度は年間30回カウンセラーの先生に来校し、生徒や保護者の皆様が利用している状況です。心理療法師の資格を持つ方ですので、何か相談したいことがありましたら是非ご利用願います。

4. 進路指導に関する評価領域

	質問項目	生徒	保護者
1	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている		
2	進路ガイダンスや進路講話等を実施する必要性を感じている。		

3	あなたは、家族とよく相談しながら進路について考えている		
4	本校は、進路に関する情報を十分に与えている(生徒)/家庭との連絡を密にし、進路指導を行っている(保護者)		

◆1年生では、自分が将来どんな職業に就きたいのかを発見としたテーマで、2年生ではそれを達成するために必要な資格などへの挑戦、そして3年生は実現へとそれぞれの各学年で職業レディネステストや職業適性検査を実施し、進路目標の明確化を進めています。◆学年での進路ガイダンスにも参加して頂けるよう保護者の皆様にも御案内しております。またLHRの時間を利用してキャリア教育のエキスパート講師による進路講話を企画して、家族とよく相談して自分の進路を考察出来る体制作りを目指しています。◆さらに進路指導部では、生徒あるいは保護者の皆様にも個々の面談やクラスの進路相談は言うまでもなく、進路指導室の前や教室棟2階の廊下にも進路コーナーを設け進路に関する情報の提供もその都度迅速に行い、親切で丁寧な指導を心掛けております。

5. その他

	質問項目	生徒	保護者
1	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている		
2	公共物を大切に使うと心がけている(生徒)		
3	本校の図書館は、利用しやすくなっている(生徒)/朝読書は、生徒にとって有効な活動である(保護者)		
4	本校のホームページは、有効な情報を発信している		
5	本校のPTAメール配信システムは有効な情報を発信している		

◆『非常災害時の連絡方法』については、4月初旬に「大規模地震発生時における対応について」の文書を生徒を通じて配布し保護者に連絡するとともに、生徒手帳(P56, P57)に掲載してHR等で確認するなどをして徹底を図りました。また、ホームページにも掲載して周知を図っています。しかし、集計の結果からは大きく改善されたとはなっていないようですので、今後も定期的に防災訓練等で確認を行い、災害時の対応についての防災教育の充実に努めます。 ◆『Webサイト(ホームページ)』は、個人情報の適切な管理をしながら、定期的な更新をし、情報をお届け出来るようにします。 ◆『メール配信』については、特に臨時休校の連絡などは遠距離通学者への配慮から、午前5時半の配信に努めました。今後もメール配信の有効利活用の促進・充実に努めてまいります。また、『メールが配信されない』という意見も頂いておりますが、ご利用端末のメール受信設定によりブロックされているものと思われます。詳しくは本校ホームページをご覧ください。◆時代のニーズに対応した図書館づくりを今後も進めていきます。

6 まとめ

◆各評価項目とも、年度ごとの比較では多少の増減はあるものの肯定的な回答のしめる割合が多く、総合的には理解していただいていると思われます。しかし、項目ごとで見た場合には、否定的な回答が少ない割合であっても重く受け止め、改善を図る必要性も強く感じています。 ◆自由記述でも多くのご意見をいただきました。すべて拝見させていただき、次年度の計画立案時に参考とさせていただきます。 ◆学校評価は、生徒や保護者の皆様のニーズに応じた教育を目指すとともに、社会の変化に対応した「特色ある学校づくり」の推進を図るため、本校の教育内容を点検・評価することで改善方法を明らかにし、教育活動の継続的な改善を図るためご協力いただいております。今回のアンケート結果につきましては、今後の本校教育活動の参考にさせていただき、学校の取組みに反映させていただきたいと思っております。